

令和 3 年第 1 回鹿角市議会定例会 一般質問

□質問順位及び質問所要時間

2月12日（金）午前10時～

1	兔澤祐一	議員	（30分）
2	成田哲男	議員	（30分）
3	田中孝一	議員	（30分）
4	田口裕	議員	（30分）
5	金澤大輔	議員	（30分）
6	中山一男	議員	（30分）

□質問時間割当表

10:00	10:30	11:00	11:10	11:40	12:10	13:00	13:30	14:00
2月12日 （金）	兔澤祐一 （30分）	成田哲男 （30分）	休憩 10分間	田中孝一 （30分）	田口 裕 （30分）	休 憩	金澤大輔 （30分）	中山一男 （30分）

令和3年第1回鹿角市議会定例会一般質問

No.1

No.1					
順位	1	質問者	兎澤 祐一	質問所要時間	30 分
質 問 事 項				質 問 要 旨	
1 市長の 5 選出馬への意向について				① 今後 5 期目を目指されるのか伺う。	
2 P C R 検査に至る相談・検査体制の変更後の対応について				① 昨年 10 月以降に厚生労働省に対して、県を通じて新たに申請した P C R 検査が可能な医療機関の追加について、どの医療機関を加えたのか伺う。また、市民への公表はどのようなになっているのか伺う。 ② 新しい体制の中で、地域で身近な医療機関の対応について「電話をしたけれど相談さえ受け付けてくれない」、「保健所に電話をしてくれと言われた」などの問題やクレームはないか。スムーズに P C R 検査までの新しい流れができているのか伺う。 ③ 実際に診療・検査医療機関の P C R 検査数はどのようなになっているのか、市が把握している実態について伺う。	
3 住まいと暮らしの安心を確保する居住支援の強化について				① コロナ禍において生活困窮者自立支援制度における住居確保給付金の利用が爆発的に増えているが、本市における申請件数並びに支給決定件数、また前年と比較してどの程度増えているか伺う。 ② 住居確保給付金は、最大 9 か月まで支給される。4 月以降支給開始された方々は、年末年始には支給が切れて、路頭に迷うのではと心配される。生活保護の受給者など本人や家族のニーズや状況等に応じたきめ細やかな支援が必要と考えるが、実態はどのようなになっているのか伺う。 ③ 住宅セーフティネット制度の家賃低廉化補助制度による支援で、自立を促していく仕組みに積極的に取り組むべきと考えるがいかがか。	

令和3年第1回鹿角市議会定例会一般質問

No.2

順位	1	質問者	兎澤 祐一	質問所要時間	30 分
質 問 事 項			質 問 要 旨		
4	行政手続きにおける押印廃止と書面主義の見直しについて		① 行政改革担当大臣が推し進めている「押印廃止」について、言われている通り約99%の中央省庁の行政手続き文書の押印が実際に廃止された場合、本市の行政文書においても、何と何が連動して廃止できるのかを判断して、今から廃止対象リストの洗い出しを積極的にすべきと考えるが、見解を伺う。 ② 既に国の動きに併せてその準備を進めているのか、取組状況を具体的に示していただきたいがいか ③ 押印廃止と書面主義の見直しについては、国の動きを敏感に察知して、何よりも住民サービスの向上に向けて早急な洗い出しと対応を期待するが対応について伺う。		
5	高齢者の介護の状況について		① 本市の一人暮らしや高齢者のみの世帯はどのくらいあるのか。また、その中で介護サービスを必要とする方はどのくらいおられるのか伺う。 ② 現在、特別養護老人ホームなど介護保険施設への入所待機者はどのくらいおられるのか。また、今後の対応はどのように考えているのか伺う。 ③ 措置入所制度について条件と受入体制について伺う。また、併せて、認知症などで徘徊しておられる方々は対象にならないのか伺う。		

令和3年第1回鹿角市議会定例会一般質問

No.1

順位	2	質問者	成田 哲男	質問所要時間	30 分
質 問 事 項			質 問 要 旨		
1	公共交通手段の確保について		① 路線バス時刻表も配布されているが、それでも利用する人から運行ルートや時間帯、運賃などの情報提供の要望が出ている。周知など検討の余地はないか伺う。 ② 遠い地域からは高い運賃になるが、運賃について利用しやすい金額に検討できないか伺う。		
2	地域新エネルギー利活用について		① 株式会社かづのパワーの取り組みは休止となるが、次期エネルギービジョンの策定など、今年度の事業に入っている。その内容について伺う。		
3	交流人口の拡大について		① 武蔵野大学と官学連携による専門的研究の取り組みが計画されている。今年度まで中心市街地の状況調査をしていたが、研究内容の違いは何か伺う。 ② さらに交流拡大のために、公共施設等を利用してサテライトキャンパスを開設することは考えられないか伺う。		
4	新規ブランド産品育成支援について		① シンテッポウユリや啓翁桜、シャインマスカットなど、新規ブランド産品として拡大を図っているが、今後の見通しはどうか伺う。 ② 個人と法人で取り組む場合の、問題点や課題の違いについて伺う。		
5	新型コロナウイルス感染症について		① 4月から優先順位に合わせ、高齢者からワクチン接種が行われる見込みとなった。これから体制整備をする予定であるが、現在検討されている接種方法や場所・日程について伺う。		
6	スマート農業の取り組みについて		① 今年度、本市と鹿角地域振興局でトマト・キュウリの2つの実証試験を行っていると思うが、どのような成果になっているか伺う。 ② スマート農業の理解を深めるセミナーの開催や先進地視察なども行われたと思うが、参加者の意向はどうであったか伺う。		

令和3年第1回鹿角市議会定例会一般質問

No.1

順位	3	質問者	田中 孝一	質問所要時間	30 分
質 問 事 項				質 問 要 旨	
1	第7次鹿角市総合計画について			① 第7次鹿角市総合計画が令和3年度から令和12年度までの10年間とした前期5年間と後期5年間に分けた計画としているが、第6次鹿角市総合計画の実績における課題等を踏まえた計画であると思うが、第7次鹿角市総合計画において、最重要課題とする政策の取り組みの内容はどのようなものか伺う。	
2	新型コロナウイルス感染症による、本市の経済状況と今後の支援対策について			① 新型コロナウイルス感染症の発生から1年以上経過して、生活様式が一変して収束の見えない状況となっている。経済や主要行事開催等にも大きく影響しており、本市としても影響を受けている事業者への支援や、市内経済の回復を目的としたプレミアム付商品券・飲食券を発行して市民が活用しているが、本市における各種業種の経済はどのような状況にあるのか。また、今後の支援対策についてどのような支援を行う考えがあるのか伺う。	
3	水田農業対策について (1)米の令和3年産に向けた取組方針について			① 令和2年産の主食用米価格は新型コロナウイルス感染症や、作柄等により、需給のバランスから前年度より安くなり、国の令和3年産の生産量見込みは在庫や消費の減退から、36万トン減らす必要があるとされ、主食用米は大幅な価格低下が予想されている。国も予算措置をして支援対策を実施して、主食用米から非主食用米の作付け転換を図る必要があると言われる中で、本市としてどのような取り組みをしていくのか、市の考えについて伺う。	
	(2)稲作中心から収益性の高い作物への転換について			① 稲作における今後の見通しは、これまでにない厳しい栽培環境がでてくるのではと感じている。農家所得では米の所得が最も多くあることから、稲作に代わる収益性の高い作物として、本市では畑作、園芸、果樹等が栽培されているが、本市の農業所得の向上を図る観点から、関係機関と今後の推進展望を協議して方向性を導き出す必要があると思うが、市の考えについて伺う。	
4	農業施設等の雪害対策について			① 全国的に昨年の12月中旬以降からの大雪による被害が発生し、秋田の県南を中心に農業施設被害が深刻な状況にあるが、本市におけるこれまでの被害はどのような状況にあるのか。また、農業施設や果樹等の園地の被害は雪解けを待たないと確認できないことから、被害農家には、速やかな確認と支援策が必要と思うが、市の考えについて伺う。	

令和３年第１回鹿角市議会定例会一般質問

No.2

順位	3	質問者	田中 孝一	質問所要時間	30 分
質 問 事 項			質 問 要 旨		
5	農業後継者対策について		① 稲作、畑作、果樹、畜産の複合経営体である本市の農業は、少子高齢化により現在の経営継続が困難になるのではと心配される。家族農業経営はもとより、農地集積して経営の効率化を図っている法人農業経営も担い手不足から経営継続が危惧されている状況である。 農業後継者対策として、農業次世代人材投資事業、ミドル就農者経営確立支援事業、新規就農者研修支援事業、移住就農者農業経営安定支援事業費補助金等の事業内容に応じた支援対策を行っているが、本市として、これまでの事業の取り組みの経緯と取り組み後の実績について伺う。		
6	高齡者福祉対策について		① 団塊の世代が、間もなく後期高齢者を迎えることにより認知症高齢者が増加すると言われ、本市も様々な認知症施策を行っているが、現在実施しているこれまでの取組施策の状況はどのようなものか。また、施策の中で課題となっている点があるのか伺う。		
	(１) 認知症総合支援事業の取り組みについて				
	(２) 高齢者安心確保事業について		① 高齢社会の進展により一人暮らし世帯が増加する傾向にあることから、高齢者等を地域全体で支える取り組みを進めるとして、緊急通報システム、見守り電話等導入支援、見守りネットワークの強化、避難行動要支援者避難支援、救急情報セット配付等を支援して安心して生活できるまちづくりを進めるとあるが、本市として最も活用されている事業は何か。また、事業の活用状況について伺う。		
7	移住、定住の促進について		① 移住、定住の促進については、コロナ禍にありながら、今年度も前年を上回る移住者数が見込まれているとされ、新年度においても生活様式や価値観を的確に捉えた手法を取り入れながら移住者のさらなる増加を目指すとするが、これまでの移住コンシェルジュの鹿角における活動評価はどのようなものか伺う。 ② 移住対策で情報を発信して事業展開をしてきたと思うが、移住相談件数の推移、相談者の状況、相談内容はどのようなものか伺う。		

令和 3 年第 1 回鹿角市議会定例会一般質問

No.1

順位	4	質問者	田口 裕	質問所要時間	30 分
質 問 事 項				質 問 要 旨	
1	人口問題について			① 平成 25 年に国立社会保障・人口問題研究所が発表した鹿角市の人口は、2040 年に 1 万 9,422 人、2060 年に 1 万 1,616 人の予測であった。諸施策を行ってきたが実情はこの 7 年間でその予測を上回るスピードで人口が減少してきている。昨年示された鹿角市人口ビジョンによると、2040 年に 2 万 868 人、2060 年に 1 万 4,205 人としているが、将来の市の状況をどのように想定しているのか。また、中心市街地の花輪・毛馬内の町の将来をどのようにイメージしているのか伺う。 ② 鹿角市の人口が半減するということは、どのようなことが起こり、何が課題となると考えているのか。そして、その想定にどのように取り組んでいくのか伺う。	
2	農業の継承と農地の利活用について			① これまで認定農業者、集落営農組織、農業法人の育成に取り組んできているが、立ち上げた組織構成員の高齢化や集落での合意形成、集約等各々多くの課題に直面している。その課題に対する個別の緻密な取り組み、相談機能を早急に強化するべきであると考えているが、考えを伺う。 ② 米の生産調整廃止後も土地の利活用はあまり進んでいないと思われる。不耕作地周辺は荒廃し状況は悪化してきている。農地集約による生産性の向上、景観環境の上でも取り組みを急ぐべきと考えるが、考えを伺う。	
3	東北縦貫自動車道 I C 周辺の利活用について			① 北東北の中心にある地理的立地条件の良さを生かして、地域の活性化を図る上でも、再度、I C 周辺の利活用について取り組むべきでないか考えを伺う。	
4	2025 年問題について			① 団塊の世代が後期高齢者となる 2025 年問題をどのように想定し、具体的にどう取り組んでいくのか伺う。また、要介護 3 以上でも多くの人が入所待機の状態となっている。長生きして良かったと言えるよう高齢者が安心して暮らせるような取り組みが求められるが、具体的な取り組みについて伺う。	

令和3年第1回鹿角市議会定例会一般質問

No.1

順位	5	質問者	金澤 大輔	質問所要時間	30 分
質 問 事 項			質 問 要 旨		
1 廃校の利活用について					
(1)旧草木小学校と旧末広小学校の現状について			① 昨年の第1回定例会での田口議員の一般質問で、この2校の個別施設計画について質問があったが、現在はどのような状況になっているのか伺う。		
(2)花輪北小学校と平元小学校の今後について			① 花輪北小学校については、現時点で活用の予定はないとのことだったが、利活用してほしいのか、経年劣化後の解体を想定しているのか、市民の関心もそこにあり情報を欲しがっている。市民にも伝える発信をするべきと思うが、市の考えと今後の方向性を伺う。		
2 コミュニティ生活圏について					
(1)コミュニティ生活圏形成事業について			① 現在、県の事業として平元地区をモデルに取り組まれているが、何年計画のもので、県の事業としてのゴールはどこなのか。立ち上げから軌道に乗るまで関わってもらえるのか。県の事業終了後、市がバックアップして伴走していくのか考えを伺う。		
			② 県の事業の取組中に、興味を持った他の地区が出た場合、途中からでも事業に参加できるものか伺う。		
(2)空き校舎を利用した「コミュニティ生活圏形成事業」について			① 「コミュニティ生活圏の形成」という考えは、高齢化や人口減でしぼんでいく自治会単位を集めて大きくするという考えで、自助共助が成り立たなくなる前に打つ手として最も有効と考える。 コミュニティの拠点として廃校を利用すれば、コミュニティのエリアが明確化され、空き校舎の利活用につながる。各自治会の子供会を中心とした組織運営にすれば、人材・労力・人数が確保され、それが自治会にも反映されれば、担い手不足の解消にもつながるなど、現にこのような成功事例を生み出しているのがこの取り組みであり、そういった場所に人は集まっている。国でも「小さな拠点づくり」支援を基軸とした財政支援制度を作っている。それを踏まえて市として「空き校舎を利用したコミュニティ生活圏形成事業」に取り組む考えはないか伺う。		

令和3年第1回鹿角市議会定例会一般質問

No.2

順位		5	質問者	金澤 大輔	質問所要時間	30 分	No.2
質 問 事 項					質 問 要 旨		
3	窓口業務のワンストップ化について				① 能代市役所のご遺族支援コーナー、通称「おくやみ窓口」がニュースで取り上げられていた。これは、窓口を訪れたお客様に対し、市の担当者がガイドブックに沿って入れ替わりながら手続きを進めていく「手続きのワンストップ化」で、遺族の負担が軽減されたと非常に好評のようであるが、本市での対応はどうなっているか伺う。 ② 本市でも能代市と同様の対応をすべきと考えるが、考えを伺う。		
4	動物愛護条例について				① 県動物愛護センターの発表で、捨てられたり飼い主が飼えなくなった猫の引き取りが急増しているとの新聞報道があった。2019 年度 1 年間で 630 匹だったものが、2020 年は上半期だけで 649 匹にも上り、中でも野良猫が保護されるケースが増えているとのことだった。近年では、メディア等でも保護犬猫の現状を取り上げ、飼育する側のモラルと責任を訴えており、人々の関心も高まっている。そこで、本市でも動物愛護の取り組みとして、適正な飼育を遵守させるための、条例や規則等の制定に着手する必要があると考えるが、市の考えを伺う。本市では犬猫に関する苦情や相談は少ないと、以前の答弁で聞いているが、少ないからこそ始めやすく結果にもつなげやすい。「殺処分ゼロ」に向けて、まずは本市が一番に県と連携し推進することで、他市町村への働きかけにもつながるのではと考えるが、市の考えを伺う。		
5	コロナ禍における都心部とのマッチングについて				① コロナ禍での営業自粛で都心部の飲食店は大打撃を受け、閉店に追い込まれている事業主も多く見受けられる。そんな今だからこそ、地方に呼び込むチャンスではないかと考える。飲食店や地方への回帰を模索している事業主を地域おこし協力隊として募り、空き店舗対策と商店街の賑わい創出とマッチングさせることはできないか、考えを伺う。 ② コロナ禍で地方から都心部への人の流れが止められている中で、ターゲットにしていた地方からの購買層が来ないため、売り上げが激減している店舗が多いと見る。これまでは見向きもされなかった地方だが、これをチャンスと捉える向きもあるのではないかと考える。地方が都心部に商業の拠点を構えるアンテナショップの逆パターンとして、葛飾区など本市がこれまで交流を深めてきた都心部の店舗の商品を鹿角で販売するアンテナショップの開設を働きかけてみる考えはないか伺う。		

令和３年第１回鹿角市議会定例会一般質問

No.3

順位	5	質問者	金澤 大輔	質問所要時間	30 分
質 問 事 項			質 問 要 旨		
6 結婚を応援する地域づくりについて			① 「結婚を応援する地域づくり」を進めるとして、出会い応援事業を基に民間団体と連携しながら進めていくとしているが、実質民間団体任せと、市単独事業と連携が見えないように思うが、今後はどのような連携を図って力を入れていくのか考えを伺う。 ② 県の取り組みで、協賛店に提示するとお得な優待サービスを受けられる「あきた結婚応援パスポート「A i s k i p (あいすきっぷ)」」というパスポートがあるが、市内の店舗に協賛を呼びかけ、A i s k i p の鹿角版を作れば、結婚を応援する地域づくりにもつながり、まさに「結婚を応援する地域づくり」にマッチすると思うのだが、「かづの結婚応援パスポート」に取り組む考えはないか伺う。		

令和3年第1回鹿角市議会定例会一般質問

No.1

順位	6	質問者	中山 一男	質問所要時間	30 分
質 問 事 項				質 問 要 旨	
1	新年度当初予算案について (1) 最重点事業について (2) 総合戦略について (3) 継続事業について			① 令和3年度の当初予算編成に当たり、目玉事業の中の目玉として、市長が「これは」と言える肝いり事業を2点に絞って、その概要と期待する成果を伺う。 ① 地方創生推進交付金は、どのような目的で交付されるのか。また、総合戦略については、前期基本計画に包含し整理されているものと思うが、総合戦略事業として捉えている主な事業の概要と、その期待される効果について伺う。 ① 花輪大堰改修事業の完成部分、未完成部分、工期等はどのような進ちょく状況になっているのか伺う。また、工期が遅れるようであれば、早期に完了できるよう県に要望してほしいがいかがか。	
2	災害時における支援協力に関する協定について			① 道の駅かつの・おおゆと締結した「災害時における支援協力に関する協定」の具体的内容と、支援要請があった場合の費用負担はどのように考えているのか伺う。また、両道の駅からの意見、要望等があったのであれば伺う。	
3	死亡時の届け出について (1) 届け出窓口について (2) 窓口の一元化について			① 本市では、死亡時における各種手続きに関わる遺族の方々への対応はどのようなになっているのか。また、年間の届け出の件数はどれくらいか伺う。 ① 遺族が死亡時の際の手続きをワンストップで行えるように、「窓口の一元化」を検討する考えはあるのか伺う。	
4	学級編成基準について (1) 小学校の学級編成基準について			① 今現在の、市内の小学校の学級編成基準はどうか伺う。また、35人学級に引き下げることによる「メリット・デメリット」には、どのようなものがあるのか。さらには、4月からの授業対応については万全なのか伺う。	

令和3年第1回鹿角市議会定例会一般質問

No.2

順位	6	質問者	中山 一男	質問所要時間	30 分
質 問 事 項				質 問 要 旨	
(2) 中学校への少人数学級の導入について				① 本市では、中学校への少人数学級の導入について、現在どのような考えを持っているのか。検討されているのであれば伺う。	
5 鹿角スキー国体・インカレスキー大会の中止による補償等について				① 選手等の受け入れに協力してくれた宿泊施設においては、大量のキャンセル等による影響も大きく、また、事前準備等などで大きな損害を受けている業者も多いと思うが、市としても損害の状況等を把握して、県と共に手厚い補償を考えるべきと思うがいかがか。	